

平成23年度「確かな学力の伸長を図る調査」の 分析に基づく授業改善推進プラン

東久留米市立本村小学校

(算数) 科

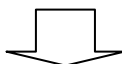
1 「確かな学力の伸長を図る調査」の分析結果

これまでの指導の成果

算数への意欲・関心は割合高く、これまでの少人数指導の成果が表れている。
「数と計算」では、整数の表し方や分数のたし算ひき算は、半数以上ができています。
また、「数量関係」では、折れ線グラフや2つの量の関係も半数以上ができています。

課題

「数と計算」では、がい数、四捨五入の力が劣る。学習したことを練習したり、活用したりすることが不十分なためと思われる。「量と測定」では面積や角の大きさを求める力が不十分である。どの領域においても全国得点率より低いので、定着を図る手立てが必要である。



2 課題解決に向けた具対策について

個に応じた指導について(補充的な学習及び発展的な学習の推進に向けて)	
補充的な学習	発展的な学習
○能力に応じたスキルを用いた個別指導を行う。 ○テストの前には、演習プリントによる復習を行う。 ○教科書の内容をさらに定着させるために、確認を兼ねた「先生問題」を適宜取り入れる。	○時間的、学力的に余裕のある児童には、発展プリントでさらに習熟を図る。
その他	
○具体的な学習方法（教科書の読み方、ノート書き方、テストの解答の仕方、家庭学習の仕方等）を指導する。 ○個別指導が必要な児童には「学力向上支援員」のサポートを活用し、一人一人に適した課題を用意して支援を行っている。	